

ふながた

2025.12
第101号

生活支援第一部(おおくら園)



生活支援第二部(かまくら園)



生活支援第四部(はちくら園)



生活支援第三部(とがくら園)

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 障害者支援施設 宮城県船形の郷
〒981-3625 宮城県黒川郡大和町吉田字上童子沢21
TEL 022-345-3282 / FAX 022-345-3984
<https://fukushi.miyagi-sfk.net/sato>
ホームページにも、行事や活動の様子が掲載されておりますので、是非ご覧ください。



ホームページは
こちらから！

ごあいさつ

副施設長 古川 浩智

師走を迎え、寒さもひとしお身に染みる季節となりました。皆様いかにお過ごしでしょうか。

さて、船形の郷では6月から給食業務の外部委託を開始し、この機会に利用者様一人ひとりの健康管理のため「栄養ケアマネシメント」に取り組むこととしました。個人ごとの栄養ケア計画を策定し、代理人の皆様の同意もいただき、11月から本格的に実施しております。引き続き栄養士を中心に健康の維持改善に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、船形の郷では、新型コロナウイルスなどの感染症対策の規定を変更し、外出外泊日数の緩和や利用者様の居室をご覧いただけるようにいたしました。代理人の皆様から「初めて居室を見られてよかった」「個室での生活の様子が分かって良かった」と好評をいただいております。船形の郷へおいでの際は、ぜひ利用者様の居室もご覧いただくようご案内いたします。

今年度、新たに14人の利用者様をお迎えし、季節の行事なども行いながら、一緒に楽しく生活をさせていただきます。

引き続き、職員一同利用者様の充実した生活のために、支援に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

各部署の取り組み状況について

生活支援第一部 (おおくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

利用者様の地域生活及び社会参加を目標に、日々支援に努めています。

また、ご家族様との連携を大切にしています。毎月各ご家庭へ担当職員から近況報告を行っており、意見等を伺いながら、支援に反映しています。

☆納涼会

今年の納涼会は法被をまといお祭りの気分。利用者様が好みのシロップを選び、豪華トッピングのかき氷を召し上がりました。



☆夏祭り

9月に夏祭りを開催しました。綺麗な花火を眺めながら「夏を感じられた」と笑顔が広がりました。



☆日帰り旅行

10月に日帰り旅行で【秋保ウィレッツ アグリエの森】を訪れました。周辺の観光や足湯、お土産の購入など、各々楽しまれておりました。



☆自立訓練の取り組み

自立訓練室を使い、小集団で様々なことを体験しています。電子レンジを使ったり、コーヒーを豆から挽いて淹れてみたり、楽しく生活スキルを身につけていきます。



いつも過ごす空間とは別の場所で購入したお弁当を食べたり、誕生日会を行うことでも、利用者様の違った表情がみられます。





イラストで予定を確認している様子



集中できる環境で得意な課題に取り組む様子



☆強度行動障害支援の取り組み
強度行動障害とは、不安・緊張から本人の健康や周囲の暮らしに影響を及ぼす行動の頻度が高いため、特別な配慮が必要な状態のことです。利用者様が安心して状態で過ごせるように、予定の視覚化や仕切りを用いた集中できる環境づくりなど、一人ひとりに適した支援を提供しています。

生活支援第二部 (かまくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

行動障害や自閉的傾向のある利用者様の意思尊重、尊厳を重視したサービスを提供し、能力に応じて自立した日常生活を営むことを目標としています。社会体験外出や行事をとおして潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。



☆夏祭り
8月に開催した夏祭りは、利用者様も法被を着て参加しました。出店の魚釣りゲームやかき氷、花火など、夏を満喫した1日となりました。



☆お楽しみ会
ご要望や季節に合わせて、毎月イベントを実施しています。希望メニューの提供や七夕会、装飾製作、部長との懇談会など、楽しまれています。



調理体験



ドライブ外出



松島散歩



飲食店でテイクアウト体験

☆日常生活の様子
日々の生活の充実を図るため、一人ひとりに合わせた日中活動、社会体験外出などを行っています。



☆ハロウィン
10月のハロウィンでは、仮装をして園内を歩き、お菓子を受け取りました。シールを集めてお菓子と交換するイベントに達成感も感じられました。



日々支援を行う中で「良い姿勢で過ごすこと」「一人ひとりに適した介助方法を実施すること」の重要性を改めて感じています。今後も引き続き、利用者様に適したリハビリを提供できるよう、取り組んでまいります。



利用者様一人ひとりの課題や特性に合わせたリハビリテーション（以下「リハビリ」）を実施・検証し、支援の充実を図っています。

リハビリは、重度化のリスクが高い方だけでなく、身体障害が軽度な方に対する予防的支援も重要です。支援を行う際は、個々の興味・関心に合わせ、自発的に取り組めるよう場面設定を工夫し、楽しみながら運動機能を高められるようにしています。

慣れない環境や初めてのリハビリに、機能訓練室から飛び出してしまったり、プログラムが実施できない方もいらっしゃると思います。しかし、繰り返し支援することで、機能訓練室でプログラムに取り組めるようになるなど、運動機能以外でも変化が見られています。

リハビリテーション支援部



☆生活の様子
利用者様が楽しみながら元気に過ごせるよう、身体機能や好みに合わせて支援を行っています。生活リハビリ、口腔ケア、散歩、貼り絵、塗り絵など、様々なことに取り組んでいます。

生活支援第三部 (とがくら園)

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

高齢の方が多く、7割以上が車椅子を使用しており、移動には介助が必要です。生活リハビリや季節を彩る行事をとおして、健康を維持し、利用者様のたくさんの笑顔があらわれる生活につながるよう、取り組んでいます。



☆茶話会
茶話会でお茶やデザートを楽しむことができました。利用者様同士の穏やかな交流の機会になりました。



☆外出
利用者様のご要望に合わせて、ドライブや買い物に出掛けました。外出中は笑顔が多くみられ、満喫された様子でした。



☆誕生会と懇談会
利用者様の誕生月に、誕生会と部長との懇談会を開催しています。喜びの声や笑顔がみられ、毎回和やかな雰囲気のかたちとなっています。



☆敬老会
長寿をお祝いする会を開催しました。皆様、これからも元気に過ごしてください。

食事サービス課

【お知らせ】

6月から給食業務が外部委託となりました。委託業者と密に連携し、美味しい食事を提供させていただきます。

また、11月からは栄養や健康状態の維持、食生活の質の向上を目的とした「栄養ケアマネジメント」を実施しています。利用者様ごとに栄養ケア計画書を作成し、ニーズの把握や早期対応を行うなど、より一層専門的なサービスを提供できるよう努めています。

【食中毒予防の取り組み】

冬に流行するノロウイルスに備えて、9月に職員向けの食中毒予防研修を行いました。

《食中毒予防のポイント》

- ① よく触るところは汚染されやすい
例…スマホ、手すり、蛇口等
- ② 10℃～60℃は菌が増える危険温度帯
室温放置厳禁!!
- ③ アルコール消毒は効かない
ノロウイルスはハイターなどの次亜塩素酸ナトリウムが有効。
- ④ 加熱による消毒
中心温度85℃～90℃90秒間以上の加熱でウイルスが不活性化。
- ⑤ 感染しても症状がない場合がある
不顕性感染と呼ばれ、感染拡大のリスクがある。

職員一同、手洗いや消毒を徹底し、感染予防に努めています。



☆日帰り旅行（仙台市）
6月24日、日帰り旅行でアクアテラス錦ヶ丘と青葉城本丸会館に出掛けました。大勢での旅行に少しドキドキ。大きな水槽の生き物を見てワクワクと、皆楽しまれました。

生活支援第四部 （はちくら園）

◎入所支援と生活介護の提供

【部の特色と目標】

行動障害や自閉的傾向のある利用者様が多く在籍されています。広々とした環境を活かし、個別支援、自立支援を充実させ、明るく生き生きと生活できるよう取り組んでいます。



☆日中の様子
日中活動として、広々とした中庭での運動やスノーズレンルムの活用なども行っています。他にも班編成で自立課題やリハビリ、散策など様々な活動に取り組まれています。



☆芋煮会
10月2日、秋晴れの下、中庭で芋煮会を行いました。芋煮の他、おにぎりや唐揚げもあり、ピクニックのような雰囲気の中、ゆったりと美味しいご飯に舌鼓を打っていました。



☆部内研修
もくれん（特別支援係）で行っている支援について、事例発表を行いました。強度行動障害を有する方への支援は、土台となる環境設定が重要ということを共有しています。



好きなデザートを満喫



憧れの萬画館



加美農業高校リンゴ園



ふるさと思い出の地巡り

☆外出
利用者様の希望に沿って、県内の様々な場所に外出しています。外出の度に笑顔が溢れ、職員も嬉しい限り。利用者様の笑顔を想像しながら企画しています。



医療支援部

冬の感染症に注意

今年も、寒さ厳しい冬将軍が到来しました。冬はウイルスが好む低温と低湿度が重なるため、様々な感染症が流行します。

感染症予防の一環として、船形の郷の利用者様は、10月末から新型コロナウイルスとインフルエンザの予防接種を行っています。

予防接種以外の感染症予防の基本は日常生活の対策が重要になります。



【感染症予防のポイント】

①こまめな手洗い
手には知らず知らずのうちにウイルスや細菌がついているかもしれません。こまめにせっけんを使用してしっかりと手洗いを行いましょう。

②咳エチケット
周りに感染を広げないためにも、咳やくしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻をおさえましょう。マスクの着用も有効です。

③免疫力を高める
免疫力が弱くなると、感染症にかかりやすくなります。十分な睡眠とバランスのよい食事を心掛け、免疫力を高めておきましょう。





☆**農耕作業**
ジャガイモや大根などを栽培し、収穫した野菜は日頃お世話になっている方々へお届けしました。



☆**園芸作業**
マリィゴールドやプリムラを育てています。マリィゴールドのプランターは吉田児童館様にお届けし、喜んでいただきました。

日中活動支援係

◎軽作業等による
日中活動の提供

【係の特色と目標】

「作業支援」や「社会体験外出」等に取り組み、地域との関わりを含め、「その人らしい生活の実現」を目指します。



☆**松島ドライブ**
10月、松島ヘッドライブに出かけました。現地で購入した飲み物を飲みながら海を眺め、利用者様同士の交流も深まりました。



☆**共同制作**
生活支援部と協力して、壁面装飾を制作しました。作品はさくら館の廊下に掲示しています。

◇ご利用料金

★施設入所・生活介護

- ・食費：1,490円 / 日
- ・光熱水費：320円 / 日
- ・その他日用品等：実費

★短期入所

- ・食費：朝430円、昼530円、夕530円
- ・光熱水費：320円 / 日

※施設入所・短期入所共に、所得に応じた軽減措置となる場合があります。

入所申込み・短期入所利用の流れ

見学申込み

ご希望の方は、地域移行推進係までご連絡ください。



見学・相談・生活状況等の確認

※相談支援事業所の同席をお願いしております。



入所申込み・短期入所契約

◇入所・短期入所について

○利用対象となる方

入所・短期入所は、知的障害のある障害支援区分4以上(50歳以上)の方、知的障害のある障害支援区分3以上の方、知的障害のある障害支援区分1以上の方。

地域移行推進係

【係の特色】

入所や短期入所に関する相談の受付や、利用者様の地域生活移行等を担当している部署です。

電話：022-725-0606

最後になりますが、本年は大変お世話になりました。皆様良いお年をお迎えください。

広報委員会



編集後記

毎年12月3日から9日までの期間は、障害者週間と定められています。障害のある方への理解の推進と障害のある方の社会参加の促進の取組みが全国で行われる期間です。今回も利用者様の様々な表情が溢れる広報誌を見ながら、こうした取り組みも、社会の理解促進に繋がるといいなと感じています。

お申込みをお待ちしています。



【参加費】

無料

午前の講義部分はオンラインでも参加可能です。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

お申込みをお待ちしています。

【講師】

「行動障害を有する方への支援」

横浜やまびこの里東やまた工房 管理者 木村 重之氏

【日時】

令和8年1月30日(金)

午前10時から午後3時まで

【場所】

宮城県船形の郷管理棟

宮城県船形の郷 福祉セミナーを開催します

